

事例2

複数園による合同研究保育

園同士の学び合いで新たな視点を獲得

岡山県赤磐市 あすなろ保育園(私立)

研修のねらい

- 保育者が課題を発見する
見学する側・される側の双方にとって、自身の保育を振り返るきっかけになる。
- 保育者が自分の保育への自信を深める
他園を含む多くの保育者からよい点を認められることにより、自分の保育に確信をもつことができる。
- 園としての課題を発見する
他園の保育を見学し話し合うなかで、自園を客観的に見つめ直すことができる。

所要時間 2時間

用意するもの

- ・活動計画書(担任が作成して見学者に配布)
- ・見学記録用紙(「よかったこと・気になったこと」「理由」を見学者が記入)
- ・ビデオカメラ(必要に応じて)

研修の流れ

1時間程度

1 保育の見学

自園と他園の保育者が合同で保育の場面を見学します(あすなろ保育園では、同法人の4園で実施)。見学者は、記録用紙によかったことや気になったこと、その理由を記入します。



POINT

- ★見学対象とするクラスは、各園の課題によって決定します。同園では、5歳児クラスの保育を見学対象としました(5歳児クラスの担任がこれまでに5歳児を担当した経験が少ないという背景より)。
- ★若手やベテランなど、さまざまな立場の保育者が参加することにより、多様な視点で保育を見つめ直すことができます。



1時間程度

2 検討会

見学後は、参加者全員が意見を交換します。最初に担任が保育のねらいや自己評価、課題に感じたことなどを発表。ほかの参加者が見学記録用紙のメモをもとに、よかった点や気になった点とその理由などを述べます。



POINT

- ★園長や主任が進行者として、参加者に意見を求めるなど話し合いを深めます。
- ★見学者が自園の保育との違いを意識して発言することにより、各園の長所や課題を共有できます。
- ★最初によかった点を話し合い、次に気になった点を話し合うと意見が出しやすいでしょう。
- ★記録者もあらかじめ決めておきます。

●見学記録用紙の例(あすなろ保育園での研修)

よかったこと/気になったこと	理由
朝の集まりでの欠席確認	子どもたちが自分たちで欠席者を探して職員に伝えたのがよかった
リズム活動の際の職員の位置	職員が真ん中に立っていたのがよかった
リズム活動の目的	子どもたちは、自信をもってよく動いていたが、目的が楽しむことなのか、体の使い方を覚えることなのかはわからなかった
ゲームのルール説明	後ろのほうにいた子どもは、話し合いにあまり参加できていない様子だった
⋮	⋮

3 振り返り

記録者は、研修の内容を報告書にまとめて、1週間以内に各園の全保育者に配布。4園で研修の成果を共有します。



POINT

- ★保育場面をビデオで撮影しておく、担任が話し合いの内容を踏まえて振り返ることができます。
- ★期限を定めることで、記憶が鮮明なうちに取り組みを共有することができます。

研修を受けた感想

小森しのぶ先生
(あすなろ保育園)

◎担任として保育を実施し、見学された皆さんから「この場面は子どもがいきいきしていた」「あの場面では声かけが必要では」などと、さまざまな意見をいただきました。自分がよいと思って実践していても、ほかの保育者から見れば、改善の余地があることは少なくありません。今回の研修でも、3人の担任がいっそう連携を強化する必要があるという新たな課題を見つけることができました。

池田裕樹先生
(さくらんぼ保育園)

◎自分が5歳児担当のため、今回、ほかの園の5歳児クラスを見学できたのはとても勉強になりました。ふだんから振り返りを大切にしていますが、合同研修ではより客観的に自分の保育を見つめ直せるのが利点だと思います。自分が目指すのは園長や主任のしている保育なので、先生がたから考えを聞ける機会ももっとほしいですね。

松島優子先生
(さくらが丘保育園)

◎ほかの保育者の実践を見学していると、ふだんは気づかない子どもの様子に気づくことがよくあります。そのような発見を通して自身の課題が明確になったり、皆の意見を聞いて自分の保育への自信が深まったり、多くの学びがあります。回を重ねるごとに見方がみがかれますし、そのときどきの自分の課題によって見学する視点も変わるため、毎回、新しい発見がありますね。

研修の方針

園長 **原谷雅彦先生**

◎子どもの見方を広げるため、25年前に合同研修を開始。現在は4園合同で年間に各年齢1回、計6回を実施しています。子どもの実態が異なる各園の保育者が参加することにより、新鮮な見方がもたらされるのが合同研修の最大のメリット。とくに若い保育者は、保育について頭では理解していても、「本当に正しいのだろうか」と不安を抱えています。多くの保育者に実際の保育を見学してもらい、よい点を評価されれば自信がつかますし、課題を指摘されれば新たな目標を設定できます。見学する側も、自身の保育を振り返るよい機会となります。日程の調整などで苦勞もありますが、このような機会をさらに増やすなどしていっそう研修を充実させたいですね。

あすなろ保育園



◎「共同と共感の保育をすすめる」を運営目標に、異年齢児交流や地域住民との連携を意識した保育を展開。運営母体の社会福祉法人・岡山子ども協会は、近隣にほか3園(さくらが丘保育園・さくらんぼ保育園・よた保育園)を運営。

園長 原谷雅彦先生

所在地 〒709-0802 赤磐市桜が丘西3-14-19

園児数 150名(0~5歳児)